

愛知県における  
地域日本語教育体制整備事業

事業一覧

2020年度実施内容  
2021年度実施計画

愛知県多文化共生推進室  
(あいち地域日本語教育推進センター)

1 2020年度実施内容 . . . P 3

2 2021年度実施計画 . . . P27

# 1 2020年度実施内容

## 0 実施体制

- ① あいち地域日本語教育推進センターの設置 . . . P 4
- ② 総括コーディネーターの配置 . . . P 4
- ③ あいち地域日本語教育コーディネーターの設置 . . . P 5
- ④ あいち外国人の日本語教育推進会議の開催 . . . P 5

## I モデル事業・リソース開発

- ⑤ 地域における初期日本語教育 . . . P 6
- ⑥ 多文化子育てサロン設置促進事業 . . . P 9

## II-1 課題解決支援・普及・人材育成

- ⑦ あいち地域日本語教育コーディネーター派遣事業 . . . P11
- ⑧ プレスクール事業等普及説明会（市町村意見交換会） . . . P15
- ⑨ 地域日本語教育研修会 . . . P16

## III 財政支援

- ⑩ 愛知県地域日本語教育推進補助金 . . . P17

## IV 連携・協働

- ⑪ あいち地域日本語教育ネットワーク会議の開催 . . . P20

## V その他

- ⑫ 各種調査等 . . . P23
- ⑬ 多文化共生日本語スピーチコンテスト . . . P24

## II-2 課題解決支援・普及・人材育成

- ⑭ 日本語指導員育成事業 . . . P25
- ⑮ 子どもに対する日本語学習支援者スキルアップ研修事業 P25
- ⑯ 大人向け日本語学習支援者入門講座 . . . P26

## ① あいち地域日本語教育推進センターの設置

- 目的 地域日本語教育関係者との連携を図り、愛知県内の地域日本語教育の支援等を行うことにより、地域日本語教育の体制づくりを行うこと。（愛知県多文化共生推進室内に設置）
- 構成 5名（センター長：愛知県多文化共生推進室長、副センター長：同室室長補佐2名、総括コーディネーター：1名 事務担当者：1名）
- 主な業務 地域日本語教育に関する支援、関係者の連携に関する相談・支援、人材育成に関する支援等



〈開設式〉2020年4月3日

## ② 総括コーディネーターの配置

**(5,641千円)**

- 概要 地域日本語教育の専門的な知識に基づき、県やあいち地域日本語教育コーディネーターに対する指導・助言、関係者の調整、広報活動等を行う。
- 配置人数 1名（千葉 月香 氏）
- 任用 2020年4月1日付で任用。任用期間は、2021年3月31日まで。  
公募手続を経て、地方公務員法第22条の3に規定される「臨時的任用職員」として、県が直接任用。
- 主な業務  
あいち地域日本語教育推進センターが実施する事業の企画・立案、関係者との調整、事業遂行に伴う課題整理、現状分析等。市町村担当者や、日本語教育関係者からの相談・問合せ等に対して助言。
  - ・ あいち地域日本語教育コーディネーター派遣事業に係る業務
  - ・ 初期日本語教育モデル事業に係る業務
  - ・ あいち地域日本語教育ネットワーク会議の開催に係る業務
  - ・ 地域日本語教育研修会の開催に係る業務

### ③ あいち地域日本語教育コーディネーターの設置

#### ○ 概要

- ・ 総括コーディネーターとともに、地域や外国人の特性等に対応した教育プログラムを構想し、県内の地域日本語教育関係者への指導・助言を行う。
- ・ 学識者、NPO法人代表、国際交流協会職員等、高い専門性や長年の活動実績を持つものの中から、県から委嘱。
- ・ 委嘱人数 8名

[2020年度あいち地域日本語教育コーディネーター一覧]

(尾張地区)

	氏名	所属・職名
1	鈴木 勝代	ことばの会・代表
2	松本 里美	NPO法人シェイクハズ <sup>®</sup> ・代表理事
3	米勢 治子	東海日本語ネットワーク・副代表

(西三河地区)

	氏名	所属・職名
4	伊東 浄江	NPO法人トルンダ <sup>®</sup> ・代表
5	長尾 晴香	国際交流NGO Vivaおかざき！！・代表
6	得永 美穂	(公財)豊田市国際交流協会

(東三河地区)

	氏名	所属・職名
7	河村 八千子	NPO法人フロンティアとよはし・代表
8	林 明子	(公財)豊川市国際交流協会

### ④ あいち外国人の日本語教育推進会議の開催

(394千円)

- 設置目的 あいち地域日本語教育推進センターの運営方針及び事業内容の検討等
- 開催回数 年1回
- 協議事項 (1)あいち地域日本語教育推進センターが行う事業に関する事。  
(2)その他、地域日本語教育の体制づくりに必要な事項に関する事。
- 構成員 17名 (学識者、民間日本語教育機関、中間支援団体、日本語教室、企業関係、学校関係、市町村、市町村国際交流協会等)

I モデル事業・リソース開発

⑤ 地域における初期日本語教育 (2,776千円)

○ 目的

専門機関の協力を得て、地域のボランティアの日本語教室と連携した初期日本語教育の愛知モデル（あいち初期日本語教育プログラム）をつくり、地域での外国人受入れのための社会インフラ整備を目指すため、モデル的に簡単な日常会話やひらがなを教える初期日本語教室を開催するとともに、初期日本語教育指導者を養成する。（2018年度から実施）

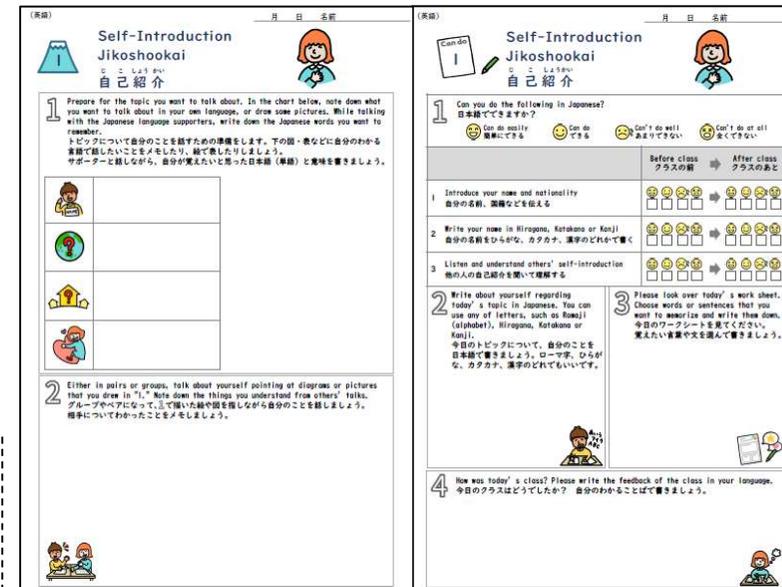
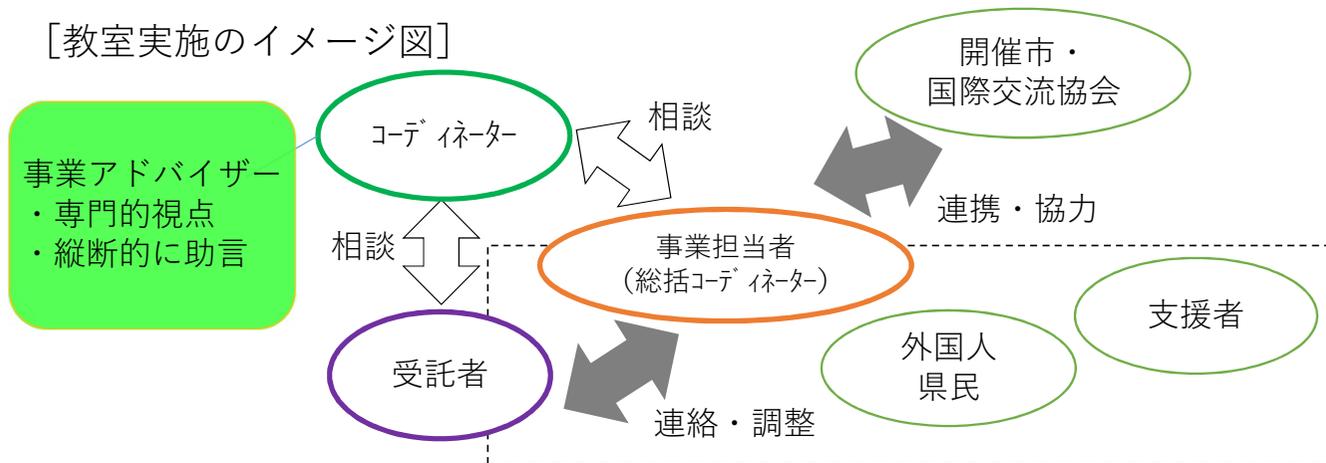
○ 実施体制

- ・運営委員会 日本語教育の有識者等で構成。事業内容、実施方法等の検討、実施状況の確認・改善、事業評価等を実施
- ・コーディネーター 事業全体のコーディネートを行うため設置（1名）

○ 概要

- (1) 地域における初期日本語教室のモデル開催
- (2-1) 「地域における初期日本語教育」のための指導者養成講座の実施
- (2-2) フォローアップ講座の実施

[教室実施のイメージ図]



[2019年度作成教材「はじめての日本語」]

## ⑤ 地域における初期日本語教育

(2,776千円)

## ○ 2020年度実施結果

■実施場所：**蒲郡市**（県として3年目の実施となるが、初めて東三河地域で実施）

## (1-1)初期日本語教室（第1期）

- ・実施期間：9月20日（日）～11月29日（日）毎週日曜日 13:30～16:30 **全11回**
- ・参加者：**21名（フィリピン、ブラジル）**
- ・会場：蒲郡市生きがいセンター又は蒲郡市民会館

## (1-2)初期日本語教室（第2期）

- ・実施期間：12月6日（日）～2月14日（日）毎週日曜日 13:30～16:30 **全10回**
- ・参加者：**12名（フィリピン、ブラジル）**
- ・会場：第1期と同場所、5回分はオンライン

## (2-1)指導者養成講座

- ・実施期間：9月26日（土）～1月16日（土）毎週土曜日 10:00～16:00 **全6回**
- ・参加者：**35名（うち28名に受講証明書を交付）**
- ・会場：蒲郡市市民体育センター又は蒲郡市民会館（最終回はオンラインで実施）

## (2-2)指導者養成フォローアップ講座

- ▶一宮市（2018年度開催市）実施日：12月26日（土） 13:30～16:30  
参加者：**7名** 場所：一宮市向山公民館
- ▶刈谷市（2019年度開催市）実施日：1月30日（土） 13:30～16:30  
参加者：**8名** 場所：オンライン

[初期日本語教室の様子]



[指導者養成講座の様子]



## I モデル事業・リソース開発

## ⑤ 地域における初期日本語教育

(2,776千円)

## ○ 指導者養成講座アンケート結果

各立場での活動希望



## 【問3 今後の自分自身の活動の方向について、教えてください。（一部抜粋）】

- ・蒲郡市形原町にも**日本語教室が設立**されることを強く願っている一人です。先輩にも強く押されていますが、**私自身もやってみたい**プロジェクトの一つです。この青写真は誰に相談するのがいいのでしょうか。
- ・この講座で、考えを同じにする同士が、この町にもたくさん住んでいることを知ったので、その人たちとの**話し合いの場も欲しい**ですね。
- ・蒲郡市の形原地区でも日本語教室が開設されることがあれば、その際にはボランティアとして参加したい。また既存の教室でボランティアが足りない時には**サポーターとして参加しようと思う**。蒲郡の教室でボランティアとして活動しているので、継続していきたいと思います。
- ・現在は時間が自由にならないのですぐとは言えないが、蒲郡市内で日本語指導に関われたらよいなと思っています。以前、日本語教師養成講座を受講しているので、サポーターとしてだけでなく、**できれば指導者？として活動できれば**と考えています。
- ・今回の講習会に参加させてもらい、**コーディネーターのお仕事にも興味を持ちました**。また、機会がありましたから、色々な講習に参加したいです。

## I モデル事業・リソース開発

## ⑥ 多文化子育てサロン設置促進事業

(3,741千円)

## ○ 目的

乳幼児を育てる外国人県民が、日本人親子との交流の中で子どもに言葉を教えるポイントなどを学ぶ「多文化子育てサロン」の設置を促進する。(2018年度から実施)

## ○ 概要

## (1) 「多文化子育てサロン」の実施

- ・対象者：外国人親子及び日本人親子10組以上（うち8組以上は外国人親子）
- ・実施場所：県内1か所（7回開催）
- ・内容：子どもの「ことば」について考えるきっかけづくりや保護者の日本語能力を育成する取組 等

## (2) 普及啓発事業（説明会の開催）

- ・対象者：市町村職員、市町村国際交流協会職員、保育士、保健師など50名程度
- ・実施回数：2回（オンラインで開催）
- ・内容：サロンの必要性や実施方法について、有識者からの説明、事例紹介 等

## 【参考】

## ○ 過去の実施状況

## (1)2019年度

## ①多文化子育てサロン

- ・開催地：豊橋市、江南市、知立市
- ・開催回数：計25回
- ・参加人数：339組 871名

## ②普及説明会

- ・刈谷市、名古屋市、江南市で開催。計99名参加。

## (1)2018年度

## ①多文化子育てサロン

- ・開催地：豊橋市、犬山市、知立市
- ・開催回数：計24回
- ・参加人数：189組 476名

## ②普及説明会

- ・名古屋市、豊橋市、岡崎市で開催。計85名参加。

## I モデル事業・リソース開発

## ⑥ 多文化子育てサロン設置促進事業

(3,741千円)

## ○ 2020年度実施結果

## (1) 「多文化子育てサロン」の実施

※3地域で実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の防止のために、1地域に縮小。オンラインで実施。

	日時	テーマ	参加者	
1	9月26日(土)10:00～11:00	ママのためのアロマ教室	外国人親子2組7名・日本人親子4組8名	計6組15名
2	10月10日(土)8:00～9:00	おうちではじまるモンテッソーリ	外国人親子3組8名・日本人親子2組4名	計5組12名
3	11月1日(日)10:00～11:00	親子のバilingual子育て教室	外国人親子8組22名・日本人親子2組5名	計10組27名
4	12月20日(日)10:00～11:00	赤ちゃんとおどろろ	外国人親子2組4名・日本人親子4組9名	計6組13名
5	1月9日(土)20:00～21:00	母語以外の言葉で学ぶ子どもが学校でうまくいくには？	外国人親子12組18名・日本人親子1組5名	計13組23名
6	1月28日(木)20:00～21:00	ブラジルのお遊びを知ろう！	外国人親子34組34名・日本人親子1組1名	計35組35名
7	2月13日(土)10:00～11:00	パパとママにできることをみんなで考えよう！	外国人親子4組11名・日本人親子0組0名	計4組11名

## (2) 普及啓発事業（説明会の開催）

※オンラインで実施

- ・開催日時 【第1回】 2021年3月3日(水) 13:30～16:00
- 【第2回】 2021年3月7日(日) 10:00～12:30



[子育てサロンの様子]

## Ⅱ-1 課題解決支援・普及・人材育成

## ⑦ あいち地域日本語教育コーディネーター派遣事業

(1,286千円)

## ○ 目的

あいち地域日本語教育コーディネーターの派遣により、県内市町村や県内市町村国際交流協会などが日本語教室の設置・運営等について抱える課題に対し相談・助言を行うことで、地域の日本語教育の推進を図る。

## ○ 概要

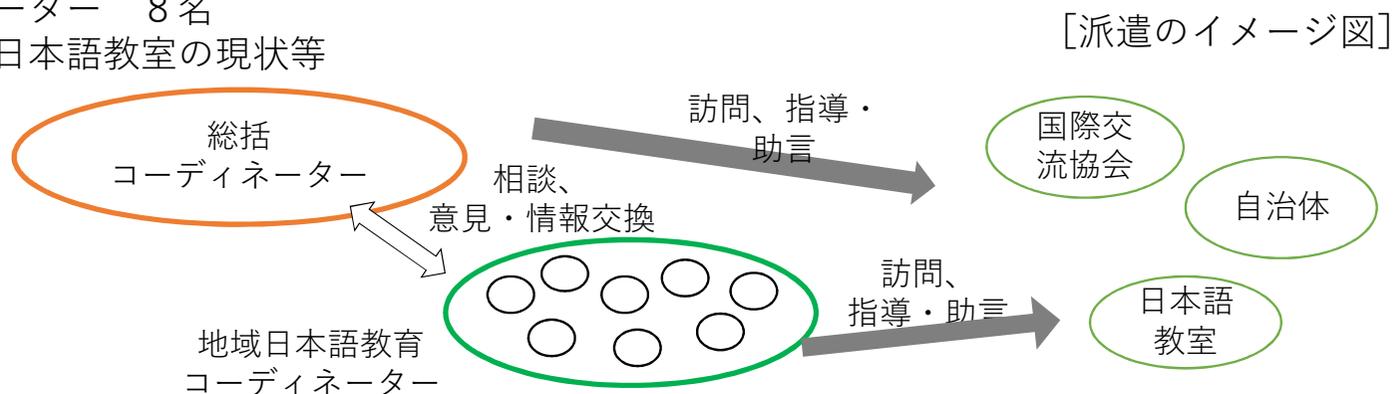
- ・派遣先 : 依頼のあった地域の日本語教室、NPO法人、市町村、市町村国際交流協会等
- ・派遣回数 : 1団体あたり5回まで(1回あたり2時間程度)

## ○実施期間

- ・申込期間 : 2020年9月1日(火)～2021年1月12日(火)
- ・派遣期間 : 2020年9月14日(月)～2021年2月14日(日)

## ○コーディネーター全体調整会議

- ・回数 : 年3回(オンライン)
- ・参加者 : 地域日本語教育コーディネーター 8名
- ・内容 : 派遣事業の実施状況、地域日本語教室の現状等



## II-1 課題解決支援・普及・人材育成

## ⑦ あいち地域日本語教育コーディネーター派遣事業

(1,286千円)

## ○ 2020年度実施結果

・派遣先：8団体 ・派遣回数：20回 ・延べ派遣人数：28人

	派遣先	派遣回数	延べ派遣人数	主な相談内容
1	NPO法人たはら国際交流協会	2回	3人	(田原教室) ・教室のオンライン化について (渥美教室) ・多読を取り入れた教室活動について
2	知立市国際交流協会	3回	4人	・教室のオンライン化、ボランティアによる日本語の教え方について
3	NPO法人希望の光 (豊田市)	5回	6人	・ブラジル人学校に通う子どもへの日本語授業の改善について
4	NPO法人With (田原市)	2回	3人	・NPO法人が主催する教室の新規立ち上げについて
5	みなみ文化日本語教室 (名古屋市)	2回	3人	・教室の運営体制について
6	瀬戸市国際センター	1回	2人	・教室のオンライン化、ボランティア育成について
7	常滑市役所	4回	6人	・市役所が主催する教室の新規立ち上げについて
8	犬山市国際交流協会	1回	1人	・新規立上をした対話形式のクラスの運営について

Ⅱ-1 課題解決支援・普及・人材育成

⑦ あいち地域日本語教育コーディネーター派遣事業

(1,286千円)

[活動状況]



・派遣先 NPO法人たはら国際交流協会  
(米勢治子氏、林明子氏、千葉月香氏(総括コーディネーター))



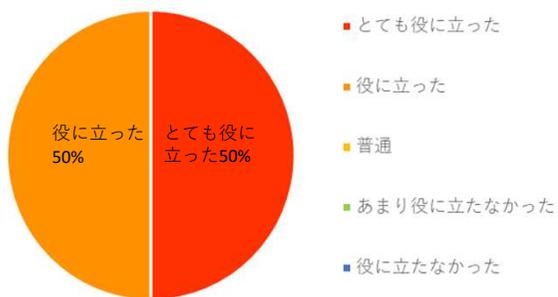
・派遣先 知立市国際交流協会  
(長尾晴香氏、千葉月香氏)



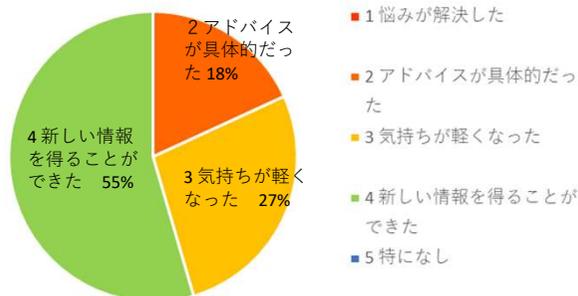
・派遣先 犬山市日本語教室  
(得永美穂氏、千葉月香氏)

○ 派遣先アンケート結果

問1 あいち地域日本語教育コーディネーター派遣事業の感想をお答えください。



問2 あいち地域日本語教育コーディネーターの派遣を受けて、よかった点をお答えください。



【問2 自由記述 (一部抜粋)】

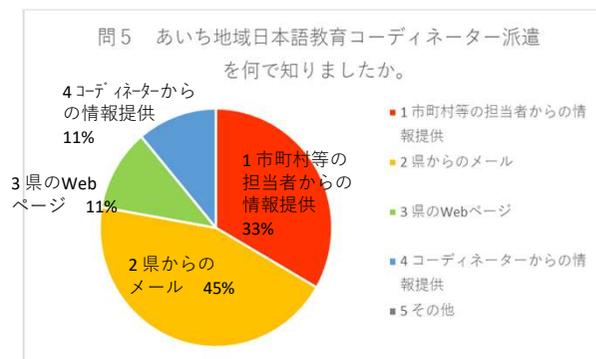
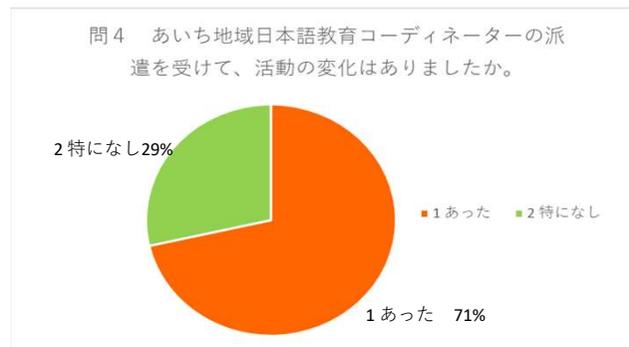
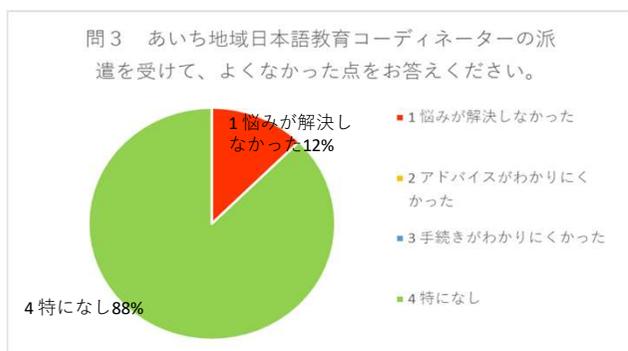
- ・日本語**オンライン授業**についてご相談させて頂いていました。日本語を学ぶ受講生の方の要望に合わせて臨機応変にすることで、授業が続くように楽しく行うことを考えて無事オンライン教室を開催する運びとなりました。
- ・コーディネーター派遣のおかげで、ZOOMを使って、にほんご教室のスタッフ会議を開いてみたり、学習者を交えてLINEで話をしたりすることができるようになった。**スタッフの方々がオンラインを使った学習に取り組もうという気持ちになれたことがよかった**と思う。今後、学習者とのマッチングをして進めていけそうだ。

## II-1 課題解決支援・普及・人材育成

## ⑦ あいち地域日本語教育コーディネーター派遣事業

(1,286千円)

## ○ 派遣先アンケート結果



## 【問3 自由記述（一部抜粋）】

- ・全く新しい考え方を提示していただけたが、実際の状況とそぐわない事も出てきてしまった。
- ※日本語検定に関しては週1の授業では無理とのお話→それでも日本語講師の方に授業として検定対策を・・・と、受講生の方から強い要望があった。
- ・具体的な教材、テキストの使い方がまだ十分に活用できない。

## 【問4 自由記述（一部抜粋）】

- ・同じテキストを使用して、授業内容、レベルを合わせて行う予定でしたがフレキシブルに考えて、受講生にあった内容を各講師（ボランティア）の方が行う形となった。
- ・次年度以降の事業計画を考えるきっかけとなった。
- ・県内他市町の日本語教室の情報を得ることができ、実際にボランティア自身が見学に行くなど、より活動の幅が広がった。

## 【全体 自由記述（一部抜粋）】

- ・教えていただいた内容をすぐに活用することは難しいですが、参考になりました。
- ・日本語オンライン教室のノウハウが全くない状態での相談でしたが、**当機構の外国人実習生の方との関わりを考慮した教室の在り方をご指導いただきました。**現在は、各受講生に合わせた授業を各々の先生方が考えて進めてくださっています。こまごまとした問題はありますが、概ね順調に進んでいます。
- ・**教室まで3回もわざわざ足を運んでくださり、感謝しています。**オンラインに関してはまったくゼロからのスタートでしたが、ボランティア、学習者とも少人数でも始められることができ、コロナ禍のなか対面教室が難しい状況でも、継続して日本語教室を続けられることができ、とても助かりました。
- ・派遣期間や派遣回数がもう少し増えるとありがたいです。

## Ⅱ-1 課題解決支援・普及・人材育成

## ⑧ プレスクール事業等普及説明会（市町村意見交換会）

（162千円）

## ○ 概要

外国人の子どもに対する初期の日本語指導・学校生活適応指導であるプレスクール等の普及のための説明会を開催。

（2020年度実施状況）

- ・開催日時 2020年10月2日（金） [岡崎市]、10月5日（月） [名古屋市]、2020年10月9日（金） [豊橋市]
- ・主な内容
  - 1 基調講演「外国人の子どもの現状とプレスクールの意義」  
講 師：愛知淑徳大学 非常勤講師 松本一子 先生
  - 2 事例報告「プレスクールの取組について」  
報告者1：西尾市教育委員会事務局学校教育課 報告者2：知立市教育委員会学校教育課

【参考】過去3年間の実施状況

## ○2019年度

- ・3回開催（刈谷市、名古屋市、江南市）
- ・内容 基調報告及び意見交換会

[基調講演者]

- 第1回：愛知産業大学短期大学 川崎 直子氏、多文化ルームKIBOU
- 第2回：愛知淑徳大学 小島 祥美氏、ちたビジョンプロジェクト
- 第3回：愛知淑徳大学 松本 一子氏、小牧市国際交流協会

## ○2018年度

- ・1回開催 ・内容 情報共有・意見交換  
[事例報告]  
NPO法人シェイクハズ、瀬戸市教育委員会

## ○2017年度

- ・1回開催 ・内容 情報共有・意見交換  
[事例報告]  
NPO法人みらい、NPO法人トルシーダ、  
高浜市教育委員会

## Ⅱ-1 課題解決支援・普及・人材育成

## ⑨ 地域日本語教育研修会

(32千円)

## ○ 概要

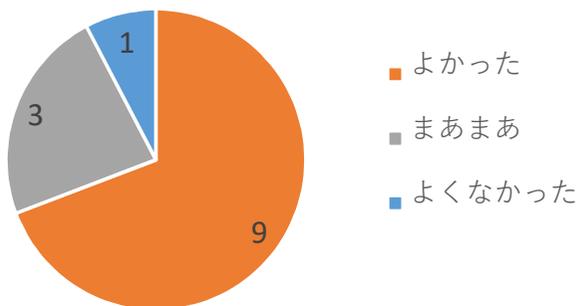
日本語教室関係者、外国人支援NPO法人、国際交流協会職員、市町村職員等を対象に、研修会を開催する。

## ○ 2020年度実施結果

	日時	開催場所	テーマ	参加者
1	2020年 8月29日 (土) 13:30~15:00	ウィルあいち	コロナ禍の活動について語ろう	10名
2	2020年11月28日 (土) 13:30~15:00	ウィルあいち	コロナ禍での外国人支援	10名
3	2021年 1月23日 (土) 13:30~15:00	オンライン	教室活動はどうしていますか	15名
4	2021年 2月27日 (土) 13:30~15:00	オンライン	コロナ禍における技能実習生の状況からより良い外国人の受け入れ環境を考える	—

## ○ 参加者アンケート結果

## 【問2 話し合う会はどうでしたか】



## 【問3 理由を教えてください。(一部抜粋)】

- ・愛知県の日本語教室の様子が聞いて参考になりました。(よかった)
- ・いろいろな教室、ボランティアの話が聞いた。(よかった)
- ・まずは、最終的に無事に参加できたこと。途中からですが、色々なお話が聞いて良かったです。アドバイスもただけて嬉しかったです。(よかった)
- ・他の団体のやり方を聞いた。いいと思ったことは参考にしたい。(まあまあ)
- ・途中で切れて音声途切れた。(よくなかった)

[地域日本語研修会の様子]



## Ⅲ 財政支援

## ⑩ 愛知県地域日本語教育推進補助金

(11,536千円)

## ○ 目的

日本語教育環境を強化するための総合的な体制づくり等を行う事業に対して、必要とする経費の一部を補助することにより、「生活者としての外国人」の日本語学習機会の確保を図る。

## ○ 概要

- ・ 交付先 市町村及び市町村国際交流協会等 ・ 補助率 補助対象経費の2分の1以内
- ・ 補助事業 ①子ども向け日本語教育事業 ②多文化子育てサロン事業 ③初期日本語教育事業（子ども向け除く）  
④地域の実態調査 ⑤地域日本語教育の推進計画策定又は改訂 ⑥その他

## [2020年計画（一部抜粋）]

## ①子ども向け教育事業

## ■豊田市

- ・ 回数 40回程度（1回1時間）
- ・ 受講者見込数 30人（15人×2か所）
- ・ 場所 豊田市保見ヶ丘地内
- ・ 遊びを通した子どもに対する日本語の学び、保護者への啓発

## ■西尾市（親子日本語教室）

- ・ 回数 11回（1回1時間）
- ・ 受講者見込数 10人（2人×5が所）
- ・ 場所 子どもの在籍園
- ・ 文字、数量、季節に関わる日本語学習

## ②多文化子育てサロン事業

## ■豊橋市

- ・ 回数 5回（1回2時間）
- ・ 受講者数見込 50組（10組×5か所）
- ・ 場所 公営住宅集会所等
- ・ リズム遊びを通して日本語を学ぶ 等

## ③初期日本語教育事業

## ■刈谷市国際交流協会

- ・ 回数 12回×3講座 計36回
- ・ 受講者見込数 20人×3講座
- ・ 場所 刈谷市国際プラザ
- ・ 愛知県作成教材  
「はじめての日本語教室」使用

## ⑤推進計画策定又は改訂

## ■長久手市

## （事業概要）

- ・ 多文化共生推進協議会 3回開催
- ・ 市民ワークショップ 1回開催
- ・ 市民アンケート実施
- ・ パブリックコメント実施

## ⑥その他

## ■蒲郡市（全市型日本語教室）

- ・ 実施回数15回×2クール（1回150分）
- ・ 実施場所 蒲郡市市民会館等
- ・ 日本語教師が中心となり、場面ごとに想定される会話を勉強する。

## Ⅲ 財政支援

## ⑩ 愛知県地域日本語教育推進補助金

(11,536千円)

[2020年度実績] 申請団体：10市町・1国際交流協会

単位：千円

		①子ども向け事業	②サロン	③初期日本語教育事業	④実態調査	⑤推進計画策定・改訂	⑥その他	補助額
1	豊橋市	○	○					500
2	春日井市			-				-
3	豊田市	○						972
4	西尾市	○						436
5	蒲郡市						○	150
6	犬山市	○						302
7	大府市						○	50
8	高浜市		○	○				1,149
9	豊明市	○						302
10	長久手市					○		1,400
11	幸田町	○						181
12	刈谷市国際交流協会			○				202
		6団体	2団体	2団体	0団体	1団体	2団体	5,644

※その他：蒲郡市（日本語教室）、大府市（日本語ボランティアスキルアップ講座）

※新型コロナウイルス感染症の影響により、春日井市（初期日本語教育）が事業中止



## IV 連携・協働

## ⑪ あいち地域日本語教育ネットワーク会議の開催

(130千円)

## ○ 目的

地域における日本語教育に関わる様々な機関・団体・個人が、各々の役割を果たしながら連携・協働するため、地域における日本語教育に関する取り組みや課題などについて情報共有や意見交換を行う。

○ 2020年度実施結果 ※大人議題と子ども議題に分けて開催

## ・ 子ども議題

日 時：2020年12月24日（木）10:30～12:00

出席者：25名（学識者、民間日本語教育機関、あいち地域日本語教育コーディネーター、NPO法人、市町村、県・市町村国際交流協会、愛知県教委 等）

議 題：構成員からの報告

- ①構成員からの報告 愛知県、**愛知県教育委員会**、愛知県国際交流協会  
**西尾市教育委員会**、北名古屋市国際交流協会
- ②意見交換（総括コーディネーターによるファシリテート）

## ・ 大人議題

日 時：2020年12月24日（木）13:00～14:30

出席者：18名（学識者、民間日本語教育機関、あいち地域日本語教育コーディネーター、企業関係者、市町村、県・市町村国際交流協会 等）

議 題：構成員からの報告

- ①構成員からの報告 愛知県、愛知県国際交流協会  
**刈谷市・刈谷市国際交流協会**、**蒲郡市**
- ②意見交換（総括コーディネーターによるファシリテート）



[あいち地域日本語教育ネットワーク会議の様子]

## IV 連携・協働

## ⑪ あいち地域日本語教育ネットワーク会議の開催

(130千円)

## ○ 2020年度実施結果

- ・出席者に対して、連携・協働に関する事前アンケート（意見交換シート）を実施。
- ・総括コーディネーターにより、アンケート結果からの課題を抽出し、意見交換時にファシリテート。

## 【事前アンケート（意見交換シート）の設問（要旨）】

- ①自身または団体の活動を行ううえで、今は実現していないが協働・連携できるとよいネットワーク（地域・関係者）は何か。  
[地域] 地区、市内、近隣地域、県域、全国、その他  
[関係者] 地域住民（自治会等）、実践者、研究者、行政、学校・教育機関、他分野、その他
- ②なぜそのようなネットワークが必要なのか。
- ③ネットワーク構築の障害となっていること

## 【意見交換シートの回答から抽出したネットワーキングの課題】

- ▶外国人住民を地域社会の一員として受け入れる、多文化共生に根差した地域日本語教育のために、他分野と連携し、言語学習以外の付加価値（生活情報、緊急時への備え等）をもった日本語教室の運営が必要。そのために日本語教室の情報が外国人住民に行きわたるような仕組みが必要。
- ▶外部団体との交流は自団体の学びにもなり有益。一方で、同市内、同団体内でのネットワーキング、コミュニケーションが希薄であるなどの課題もある。
- ▶地域と企業が情報交換や協力することで支援が充実するが、現状は困難である。
- ▶行政はじめ、ステークホルダーの役割の明確化、ネットワーキング、担い手の育成が必要。

## IV 連携・協働

## ⑪ あいち地域日本語教育ネットワーク会議の開催

(130千円)

## 各議題での委員コメント（要旨）

- ・地域の日本語教室の存在について、住民の転入窓口等の行政職員が把握できていないため、必要な外国人に情報を届けることができていない。多文化関係部署だけでなく、役所内の連携も必要である。【中間支援団体】
- ・企業内教室の開催などを社内周知しているが、経営側の意向もあり、認知度向上が一層進んでいくと思われる。社内日本語教室は社員が講師を務めているが、地域の教室とうまくかかわっていききたい。【企業関係者】
- ・働く外国人を対象として、朝7時からの教室を立ち上げた。技能実習生と日本生まれ日本育ちであるが初期レベルである方が同じ教室で学ぶのは難しく、初球クラスとした。生活相談も行っており、継続していく予定。【NPO法人】
- ・行政として初期日本語教室の立ち上げたが、既存の教室には事前に丁寧な説明を行ったところ、学習者にとってレベルが異なってくることもあり、まずは理解を得ることができ、2年目を実施している。2年目の継続にあたっては、国際交流協会の事業とし、教室コーディネーターが継続して実施していただけている。【行政】
- ・行政との連携に苦労した経験があり、地域日本語教育に対する優先度がなかなか上がっておらず、ボランティア任せから脱却できていないのが現状である。日本語学習機会の保障という意味で、コロナの影響により早々に教室を中止し再開のめどが立っていないところもあり、そういったところに行政もなかなか意見を言いにくい状態であり、課題が多い。【日本語教室】
- ・教室がボランティアの自己実現の場にもなっており、日本語教育を目的としたプロの日本語教師がいて、ボランティアが関わりあいながら教室の場をつくりあげていくようなことが求められる。行政の主体性が重要である。【NPO法人】

## V その他

## ⑫ 各種調査等

(200千円)

県内での日本語教育の取組の実態を把握するため、以下の調査を行う。

## ① 外国人学校調査の実施

	学校名	所在地	訪問日
1	伯人学校イーエーエス豊橋	豊橋市	6月30日
2	伯人学校イーエーエス豊田	豊田市	7月2日
3	伯人学校イーエーエス碧南	碧南市	7月10日
4	学校法人カンティーニョ学園	豊橋市	6月30日
5	エスコーラ・ネクター	豊田市	7月2日
6	エスコーラ・パウロ・フレイレ瀬戸	瀬戸市	7月22日
7	エスコーラ・ピンタンド・オ・セテ	豊田市	7月1日
8	一般社団法人サンパウロ国際スクール	安城市	8月20日

	学校名	所在地	訪問日
9	エスコーラ・エスプレッサオン	半田市	7月8日
10	カンティーニョ・ダ・チア・シェシェラ	岡崎市	7月7日
11	エスコーラ・セメンティーネ・デ・ジェズ	碧南市	12月9日
12	名古屋韓国学校	名古屋市	7月21日
13	愛知インターナショナルスクール	名古屋市	8月17日
14	学校法人名古屋国際学園	名古屋市	8月27日
15	E L C C 国際子ども学校	名古屋市	9月4日
16	愛知朝鮮中高級学校	豊明市	7月30日

## ② 在名古屋ブラジル総領事館主催教育フェアへの出展（1回） 中止

## V その他

## ⑬ 多文化共生日本語スピーチコンテスト

(890千円)

## ○ 目的

外国人児童生徒を始めとする外国人県民が、自分の思いや考えを日本語で伝えようとする意識の高揚を図るとともに、多文化共生に対する理解の促進を図る。(2015年度から実施)

## ○ 概要

- ・ 応募資格 愛知県内の学校等に在学する者又は愛知県内に在住する者のうち、次の(1)及び(2)を満たす者。  
(1)母語が日本語以外の者 (2)小学校以上の学校等に在籍する者又は学校に通っていない者。
- ・ 部門 「小学生の部」、「中学生の部」、「高校生以上一般の部(新設)」
- ・ 審査 一次審査：スピーチ原稿により審査、コンテスト本選：本選出場者によるスピーチ

[審査会の様子]

## ○ 2020年度実施結果

※新型コロナウイルス感染拡大の防止のために、会場でのスピーチは中止し映像審査で実施。

- ・ 募集期間 : 4月7日(火)～6月22日(月)
- ・ 応募者 : 57名(小学生23名、中学生14名、高校生以上20名)
- ・ 第一次審査: 7月19日(水)

本選出場者20名(小学生8名、中学生5名、高校生以上7名)を決定

- ・ 最終審査(本選): 11月15日(日)13:00～16:00、愛知県図書館 5階 大会議室



⑭ 日本語指導員育成事業

(1,298千円)

地域の日本語教室、特に子ども向けに学習支援等を行う教室で活動するボランティアを増やすため、様々な経験や知識を持つ人々を対象に、自分のスキルを活かしながら日本語指導員として活動する人材を育成するための入門講座を実施。

	豊田市	武豊町
日にち	①11月6日(金) ②11月13日(金) ③11月20日(金)	①11月29日(日) ②12月6日(日) ③12月13日(日)
時間	14:00 ~ 17:00	13:00 ~ 16:00
場所	豊田産業文化センター	武豊町思いやりセンター
参加者	①20人 ②18人 ③20人	①21人 ②21人 ③20人



[講座(豊田市)の様子]

⑮ 子どもに対する日本語学習支援者スキルアップ研修事業

(208千円)

過去にボランティア入門講座に参加した人を始め、実際に地域の子どもの日本語教室で活動している方々と学校関係者を対象に、日々の活動における疑問点や悩みを解決し、役立つ知識やスキルを身に付けるためのスキルアップ研修を実施。

	知多市	名古屋市
日にち	1月30日(土)	2月5日(金)
時間	9:30 ~ 12:30	13:30 ~ 16:30
場所	知多市市民活動センター → オンラインに変更	あいち国際プラザ → オンラインに変更
講師	小牧市学校カウンセラー 岡谷 絵美	NPO法人プラス・エデュケート 森 顕子
参加者	32人	24人

⑩ 大人向け日本語学習支援者入門講座

(420千円)

地域の大人向け日本語教室で活動する日本語ボランティアを新たに増やす取組として、日本語ボランティア初心者を対象に心構えなどを学ぶ「日本語ボランティア入門講座」を開催。

日にち 10月1日(木)～11月19日(木)〔全9回〕

時間 13:00～16:00

場所 あいち国際プラザ「アイリスルーム」

参加者 22人



[講座の様子]

## 2 2021年度実施計画

### 0 実施体制

- ① 地域日本語教育の総合的な推進計画策定 . . . P28
- ② あいち地域日本語教育推進センターの運営 . . . P29
- ③ 総括コーディネーターの配置 . . . P29
- ④ あいち地域日本語教育コーディネーターの設置 . . . P30
- ⑤ あいち外国人の日本語教育推進会議の開催 . . . P30

### I モデル事業・リソース開発

- ⑥ 地域における初期日本語教育 . . . P31
- ⑦ 多文化子育てサロン設置促進事業 . . . P32

### II-1 課題解決支援・普及・人材育成

- ⑧ あいち地域日本語教育コーディネーター派遣事業 . . . P33
- ⑨ プレスクール事業等普及説明会（市町村意見交換会） . . . P34
- ⑩ 地域日本語教育研修会 . . . P34

### III 財政支援

- ⑪ 愛知県地域日本語教育推進補助金 . . . P35

### IV 連携・協働

- ⑫ あいち地域日本語教育ネットワーク会議の開催 . . . P38

### V その他

- ⑬ 各種調査等 . . . P38
- ⑭ 多文化共生日本語スピーチコンテスト . . . P38

### II-2 課題解決支援・普及・人材育成

- ⑮ 日本語指導員育成事業 . . . P39
- ⑯ 子どもに対する日本語学習支援者スキルアップ研修事業 P39

## 2021年度の実施計画

(総事業費 33,050千円(28,714千円))

## ① 地域日本語教育の総合的な推進計画策定

2,422千円 (新 規)

日本語教育推進法に基づき、2020年6月に国が策定した基本方針を参酌し、新たに同法に基づく本県の基本的な方針として、地域日本語教育の総合的な推進計画を策定する。

## ○ 概要

- ・実態把握調査（アンケート調査：250件、外国人ニーズ調査：350人） 1,703千円
- ・検討会議の開催（年5回） 719千円

## ① あいち地域日本語教育推進センターの運営

- 目的 地域日本語教育関係者との連携を図り、愛知県内の地域日本語教育の支援等を行うことにより、  
地域日本語教育の体制づくりを行うこと。（愛知県多文化共生推進室内に設置）
- 構成 5名（センター長：愛知県多文化共生推進室長、副センター長：同室室長補佐2名、  
総括コーディネーター：1名 事務担当者：1名）
- 主な業務 地域日本語教育に関する支援、関係者の連携に関する相談・支援、人材育成に関する支援等

## ② 総括コーディネーターの配置

(4,902千円)

- 概要 地域日本語教育の専門的な知識に基づき、県やあいち地域日本語教育コーディネーターに対する指導・助言、関係者の調整、広報活動等を行う。
- 配置人数 1名
- 任用 2021年4月1日付で任用。任用期間は、2022年3月31日まで。  
公募手続を経て、地方公務員法第22条の3に規定される「臨時的任用職員」として、県が直接任用。
- 主な業務  
あいち地域日本語教育推進センターが実施する事業の企画・立案、関係者との調整、事業遂行に伴う課題整理、現状分析等。市町村担当者や、日本語教育関係者からの相談・問合せ等に対して助言。
  - ・ あいち地域日本語教育コーディネーター派遣事業に係る業務
  - ・ あいち地域日本語教育ネットワーク会議の開催に係る業務
  - ・ 初期日本語教育モデル事業に係る業務
  - ・ 地域日本語教育研修会の開催に係る業務

### ③ あいち地域日本語教育コーディネーターの設置

#### ○ 概要

- ・ 総括コーディネーターとともに、地域や外国人の特性等に対応した教育プログラムを構想し、県内の地域日本語教育関係者への指導・助言を行う。
- ・ 学識者、NPO法人代表、国際交流協会職員等、高い専門性や長年の活動実績を持つものの中から、県から委嘱。
- ・ 委嘱人数 8名

### ④ あいち外国人の日本語教育推進会議の開催

(222千円)

- 設置目的 あいち地域日本語教育推進センターの運営方針及び事業内容の検討等
- 開催回数 年1回
- 協議事項 (1)あいち地域日本語教育推進センターが行う事業に関する事。 (2)その他、地域日本語教育の体制づくりに必要な事項に関する事。
- 構成員 17名 (学識者、民間日本語教育機関、中間支援団体、日本語教室、企業関係、学校関係、市町村、市町村国際交流協会等)

## I モデル事業・リソース開発

## ⑤ 地域における初期日本語教育

(1,509千円)

## ○ 目的

専門機関の協力を得て、地域のボランティアの日本語教室と連携した初期日本語教育の愛知モデル（あいち初期日本語教育プログラム）をつくり、地域での外国人受入れのための社会インフラ整備を目指すため、モデル的に簡単な日常会話やひらがなを教える初期日本語教室を開催するとともに、初期日本語教育指導者を養成する。（2018年度から実施）

## ○ 実施体制

- ・運営委員会 日本語教育の有識者等で構成。事業内容、実施方法等の検討、実施状況の確認・改善、事業評価等を実施
- ・コーディネーター 事業全体のコーディネートを行うため設置（1名）

## ○ 概要

## (1) 地域における初期日本語教室のモデル開催

- ・開催市：岩倉市
- ・時間数：計48時間（1回3時間×8回×2期）
- ・定員：各期20名程度

## (2-2) フォローアップ講座の実施

- ・開催市：一宮市、刈谷市、蒲郡市
- ・時間数：各5時間
- ・対象：2018年度～2020年度指導者養成講座受講者
- ・定員：各回20名程度

## (2-1) 「地域における初期日本語教育」のための指導者養成講座の実施

- ・開催市：岩倉市
- ・時間数：計30時間
- ・定員：20名程度

## (3) 学習教材の増補

- ・新規作成：10トピック
- ・翻訳言語：5言語  
（英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、フィリピン語）

## I モデル事業・リソース開発

## ⑥ 多文化子育てサロン設置促進事業

(2,944千円)

## ○ 目的

乳幼児を育てる外国人県民が、日本人親子との交流の中で子どもに言葉を教えるポイントなどを学ぶ「多文化子育てサロン」の設置を促進する。(2018年度から実施)

## ○ 概要

## (1) 「多文化子育てサロン」の実施

- ・対象者：外国人親子及び日本人親子10組以上
- ・実施場所：県内3箇所（豊田市、半田市、大府市）
- ・実施回数：各市6回以上
- ・内容：子どもの「ことば」について考えるきっかけづくりや保護者の日本語能力を育成する取組 等

## (2) 普及啓発事業（説明会の開催）

- ・対象者：市町村職員、市町村国際交流協会職員、保育士、保健師など50名程度
- ・実施場所：県内2箇所 ・内容：サロンの必要性や実施方法について、有識者からの説明、事例紹介 等

## Ⅱ-1 課題解決支援・普及・人材育成

## ⑦ あいち地域日本語教育コーディネーター派遣事業

(2,019千円)

## ○ 目的

あいち地域日本語教育コーディネーターの派遣により、県内市町村や県内市町村国際交流協会などが日本語教室の設置・運営等について抱える課題に対し相談・助言を行うことで、地域の日本語教育の推進を図る。

## ○ 概要

## (1) 派遣

- ・派遣先：依頼のあった地域の日本語教室、NPO法人、市町村、市町村国際交流協会等
- ・派遣回数：県内8団体 1団体あたり最大3回（1回あたり3時間程度）

## (2) 全体調整会議

- ・実施回数：年3回（県内3箇所）
- ・実施場所：尾張地区、西三河地区、東三河地区で各1回

## (3) 成果報告会

- ・実施回数：年3回（県内3箇所）
- ・内容：市町村、市町国際交流協会、日本語教室関係者等を対象に、日本語教育コーディネーター派遣事業の概要と成果、課題等について報告会を開催する

## Ⅱ-1 課題解決支援・普及・人材育成

## ⑧ プレスクール事業等普及説明会（市町村意見交換会）

（91千円）

- 目的  
外国人の子どもに対する初期の日本語指導・学校生活適応指導であるプレスクール等の普及を促進する。
- 概要
  - ・実施回数：年2回
  - ・実施場所：尾張地域、三河地域 各1回
  - ・対 象：市町村の日本語教育担当者等

## ⑨ 地域日本語教育研修会

（32千円）

- 目的  
日本語教室関係者、外国人支援団体、市町村国際交流協会職員、市町村職員等が、地域における日本語教育の現状や課題について考え、課題の解決に向けた意見交換等を行うことにより、現場での取組を支援する。
- 概要
  - ・実施回数：年4回（1回2時間程度）
  - ・対 象：日本語教室関係者、外国人支援団体、市町村国際交流協会職員、市町村職員等
  - ・定 員：各回20名程度
  - ・内 容：地域における日本語教育の現状や課題について考え、課題解決に向けた意見交換等を行う

## Ⅲ 財政支援

## ⑩ 愛知県地域日本語教育推進補助金

(16,379千円)

## ○ 目的

日本語教育環境を強化するための総合的な体制づくり等を行う事業に対して、必要とする経費の一部を補助することにより、「生活者としての外国人」の日本語学習機会の確保を図る。

## ○ 概要

- ・ 交付先 市町村及び市町村国際交流協会等 ・ 補助率 補助対象経費の2分の1以内
- ・ 補助事業 ①子ども向け日本語教育事業 ②多文化子育てサロン事業 ③初期日本語教育事業（子ども向け除く）  
④地域の実態調査 ⑤地域日本語教育の推進計画策定又は改訂 ⑥その他

## ・ 実施計画申請状況 21団体

① 子ども向け日本語教育事業	8市1町2国際交流協会	8,925千円
② 多文化子育てサロン事業	4市1国際交流協会	3,079千円
③ 初期日本語教育事業	6市2国際交流協会	15,778千円
④ 地域の実態調査	1市	150千円
⑤ 地域日本語教育の総合的な推進計画策定又は改訂	1市	500千円
⑥ その他	2市1国際交流協会	4,326千円

補助対象経費 32,758千円 × 補助率1/2 = 国庫補助額16,379千円

Ⅲ 財政支援

2021年度実施計画

補助対象経費 32,758千円 × 補助率1/2 = 国庫補助額16,379千円

⑩ 愛知県地域日本語教育推進補助金

(16,379千円)

[申請検討状況調査結果(2020.10)] ・ 17市町、4国際交流協会

単位：千円

	市町村名	①	②	③	④	⑤	⑥		市町村名	①	②	③	④	⑤	⑥
1	豊橋市	312	495					12	知立市		600				
2	岡崎市	393		23				13	高浜市		300	2,500	150	500	
3	半田市			1,092				14	豊明市	841					
4	春日井市			990				15	弥富市	275					
5	豊田市	2,060		10,196				16	みよし市	786					
6	安城市		600					17	幸田町	363					
7	西尾市	1,100						18	刈谷市国際交流協会			282			
8	蒲郡市						1,300	19	知立市国際交流協会			195			
9	犬山市	864						20	豊明市国際交流協会	280					
10	常滑市			500				21	北名古屋市 国際交流協会	1,651	1,084				2,947
11	大府市						79								



## IV 連携・協働

## ⑪ あいち地域日本語教育ネットワーク会議の開催 【IV 連携・協働】 (249千円)

## ○ 目的

地域における日本語教育に関わる様々な機関・団体・個人が、各々の役割を果たしながら連携・協働するため、地域における日本語教育に関する取組や課題などについて情報共有や意見交換を行う。

## ○ 概要

- ・回数：年3回
- ・開催場所：尾張地区、西三河地区、東三河地区で各1回
- ・内容：当該年度の日本語教育事業の報告、地域日本語教育関係者からの報告・提案、意見交換

## V その他

## ⑫ 各種調査等 (103千円)

- (1)外国人学校調査の実施 (2)在名古屋ブラジル総領事館主催教育フェアへの出展(1回)

## ⑬ 多文化共生日本語スピーチコンテスト (673千円)

## ○ 目的

外国人児童生徒を始めとする外国人県民が、自分の思いや考えを日本語で伝えようとする意識の向上を図るとともに、多文化共生に対する理解の促進を図る。(2015年度から実施)

## ○ 概要

- ・応募資格 愛知県内の学校等に在学する者又は愛知県内に在住する者のうち、次の(1)及び(2)を満たす者。  
(1)母語が日本語以外の者 (2)小学校以上の学校等に在籍する者又は学校に通っていない者。
- ・部門 「小学生の部」、「中学生の部」、「高校生以上一般の部」
- ・審査 一次審査：スピーチ原稿により審査、コンテスト本選：本選出場者によるスピーチ

## Ⅱ-2 課題解決支援・普及・人材育成

## ⑭ 日本語指導員育成事業

(1,245千円)

地域の日本語教室、特に子ども向けに学習支援等を行う教室で活動するボランティアを増やすため、様々な経験や知識を持つ人々を対象に、自分のスキルを活かしながら日本語指導員として活動する人材を育成するための入門講座を実施。

## ○ 概要

- ・実施回数：7月～3月に3回
- ・実施場所：尾張地区、西三河地区、東三河地区のうち計2箇所
- ・内 容：(予定)
  - 第1回 外国人の状況について、地域の大人向け日本語教室の活動について
  - 第2回 外国人児童生徒の状況について、地域の子ども向け日本語教室の活動について
  - 第3回 日本語の教え方について、自分に合った教室活動を考える

## ⑮ 子どもに対する日本語学習支援者スキルアップ研修事業

(208千円)

過去にボランティア入門講座に参加した人を始め、実際に地域の子ども向け日本語教室で活動している方々と学校関係者を対象に、日々の活動における疑問点や悩みを解決し、役立つ知識やスキルを身に付けるためのスキルアップ研修を実施。

## ○ 概要

- ・実施回数：年2回
- ・実施場所：尾張地区、西三河地区、東三河地区のうち1箇所、およびオンライン(各1回)
- ・内 容：日本語教授法、教材の選び方・活用方法、カリキュラム作成、学習障害を抱える学習者への指導、学校とNPOとの連携、教室運営ほか